※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂科学と人間生活(東京書籍)						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちを取りまく諸問題を解決するためには、科学的根拠に基づいた視点や論理的思考力が必要である。義務教育で学習した内容を発展させ、将来の進路に関わらず「よりよき市民」として活躍できる問題解決能力を身に着けて欲しい。

2　学習の到達目標

・豊かで持続可能な社会生活を送るために必要な自然科学の基礎知識を身につける。
・自然科学に関する様々な現象について、仮説や検証を通じて理解を深める。
・同じ課題について他人と議論し、協調しながらよりよい成果を導き出す。
・学習により導き出した成果や結論を、論理的かつ平易に伝える能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然科学に関する現象を理解するための基礎知識を身につける。 自然現象を定量的に理解するために必要な計算能力を養う。	自然科学に関する基礎知識や計算処理を用いて、様々な現象について、仮説、検証し理解を深める。 多くの情報を精査し、自らが導いた成果を新たな情報として表現する力を養う。	身の回りの現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価を行う。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の科学	1 材料とその再利用	(a)身の回りの物質を構築する素材や性質に関する基礎知識の理解。 (b)(c)基礎知識を用いて、物質の利用を循環型の社会として構築するにはどのようにすべきか、主に化学の立場から考察・議論し発表を行う。	定期考査	レポート 成果発表	授業振りかえりシート 課題研究
2学期	物質と生命・光の科学	1 衣料と食品 2 微生物とその応用 3 光の性質とその利用	(a)生活と生物との関わりについて基礎知識の理解。 (b)(c)地球環境との共存を重視した社会を構築するにはどのようにすべきか、主に化学や生物の立場から考察・議論し発表を行う。 (a)光や電磁波に関する性質や基礎知識の理解。 (b)(c)電磁波について日常生活との関わりを物理の立場から考察・議論し発表を行う。	定期考査	レポート 成果発表	授業振りかえりシート 課題研究
3学期	熱と宇宙の科学	1 熱の性質と利用 2 太陽と地球 3 自然災害	(a)熱に関する基礎知識の理解。 (b)(c)エネルギー・環境問題、自然災害まで社会が抱える問題を物理や地学の立場から考察・議論し発表を行う。	定期考査	レポート 成果発表	授業振りかえりシート 課題研究

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※　生徒の学習状況や学習環境により、学習内容の順序や変更を行うことがある。